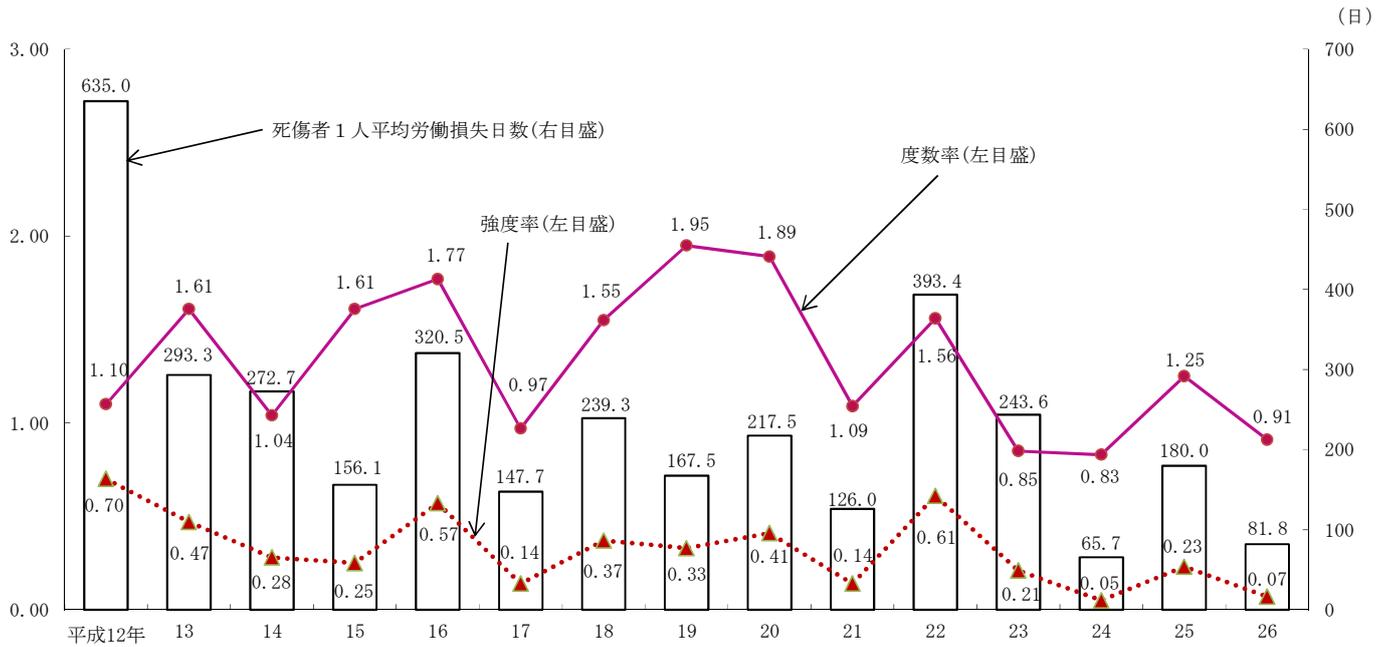


2 総合工事業調査における労働災害の状況

平成26年の労働災害の状況を総合工事業で見ると、度数率が0.91(前年1.25)、強度率が0.07(同0.23)となり、死傷者1人平均労働損失日数が81.8日(同180.0日)となっている。前年と比べ、度数率が0.34ポイント、強度率が0.16ポイントそれぞれ低下し、死傷者1人平均労働損失日数も98.2日減少している。(第3図、第3表)

工事の種類別にみると、土木工事業の度数率が0.88(同1.05)、強度率が0.03(同0.55)、建築事業の度数率が0.92(同1.30)、強度率が0.08(同0.15)となっている(第3表)。

第3図 労働災害率及び死傷者1人平均労働損失日数の推移(総合工事業)



第3表 労働不能程度別労働災害率及び死傷者1人平均労働損失日数(総合工事業)

区分	度 数 率								強度率	死傷者 1人平均 労働損失 日数(日)
	計	死 亡	永久全 労働不能	永久一部 労働不能	一時労働不能			計		
					休 業 8日以上	休 業 4～7日	休 業 1～3日			
D06 総合工事業	0.91 (1.25)	0.01 (0.02)	0 (0.00)	0.01 (0.02)	0.89 (1.20)	0.40 (0.58)	0.07 (0.06)	0.43 (0.56)	0.07 (0.23)	81.8 (180.0)
(工事の種類)										
067 土木工事業	0.88 (1.05)	0	0	0.05	0.83	0.39	0.04	0.41	0.03 (0.55)	32.5 (525.8)
068 建築事業	0.92 (1.30)	0.01	0	0.00	0.90	0.40	0.07	0.43	0.08 (0.15)	90.5 (114.3)
(請負金額)										
10億円以上	0.85	0.01	0	0.01	0.84	0.36	0.06	0.42	0.09	110.8
5億円以上10億円未満	1.09	0	0	0.02	1.06	0.39	0.12	0.55	0.03	23.6
5億円未満	1.00	0	0	0.01	0.98	0.56	0.06	0.36	0.03	32.6

注：()内は前年(平成25年)の数値である。